

## 令和2年度名古屋市立大学芸術工学部入学者選抜試験 実技試験の問題と答案例および講評について

### ■前期日程

評価のポイント（募集要項掲載）

描写力（対象を正確に把握できるか）を中心に評価します。

### 実技問題(120分)

配付された黒い紙の上に、ステンレス製の型と三角定規を配置し、鉛筆で描写しなさい。ステンレス製の型と三角定規は、黒い紙からはみ出しても良い

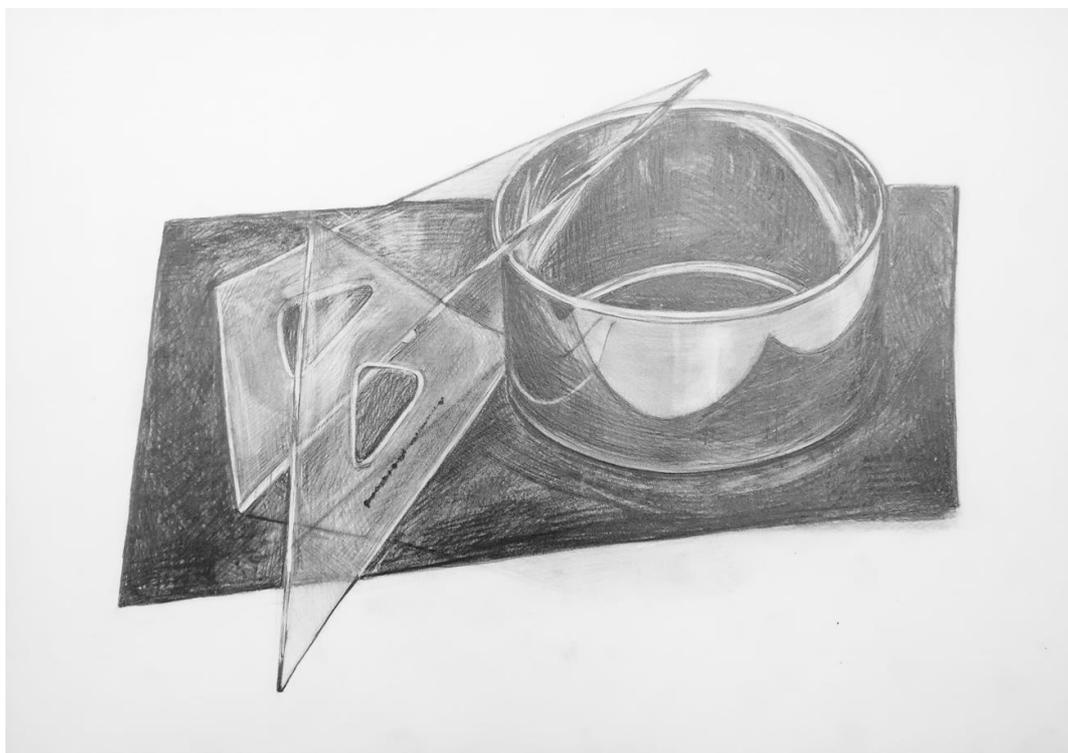
[描写対象物]

- ・ステンレス製の型 1個
- ・三角定規 1組
- ・黒い紙 1枚

[条件]

- ・描写対象物はすべて描くこと。
- ・描写対象物は加工しないこと。
- ・三角定規は2枚とも外袋から出し、外袋は描かないこと。
- ・持参した鉛筆で描くこと（色鉛筆は使わないこと）。
- ・解答用紙のタテ使い、ヨコ使いは自由。

### 【答案例および講評】



遠近感の狂いはあるが、各素材の質感表現は評価できる。黒い紙のモチーフの構図を工夫することで、より良い作品になると思われる。

## ■後期日程

評価のポイント（募集要項掲載）

（情報環境デザイン学科／産業イノベーションデザイン学科）

構想力・表現力（想像力や柔軟な表現）、描写力（対象を正確に把握できるか）等 evaluates します。

（建築都市デザイン学科）

描写力（対象を正確に把握できるか）を中心に評価します。

## 実技問題 I（120分）

長さ300mm，幅150mmの白いタオルを二つに折りたたんだ状態を想定したものと，配付されたプラスチックコップの中に配付された赤鉛筆を入れたものを，机の上に自由に配置し，鉛筆で描写しなさい。

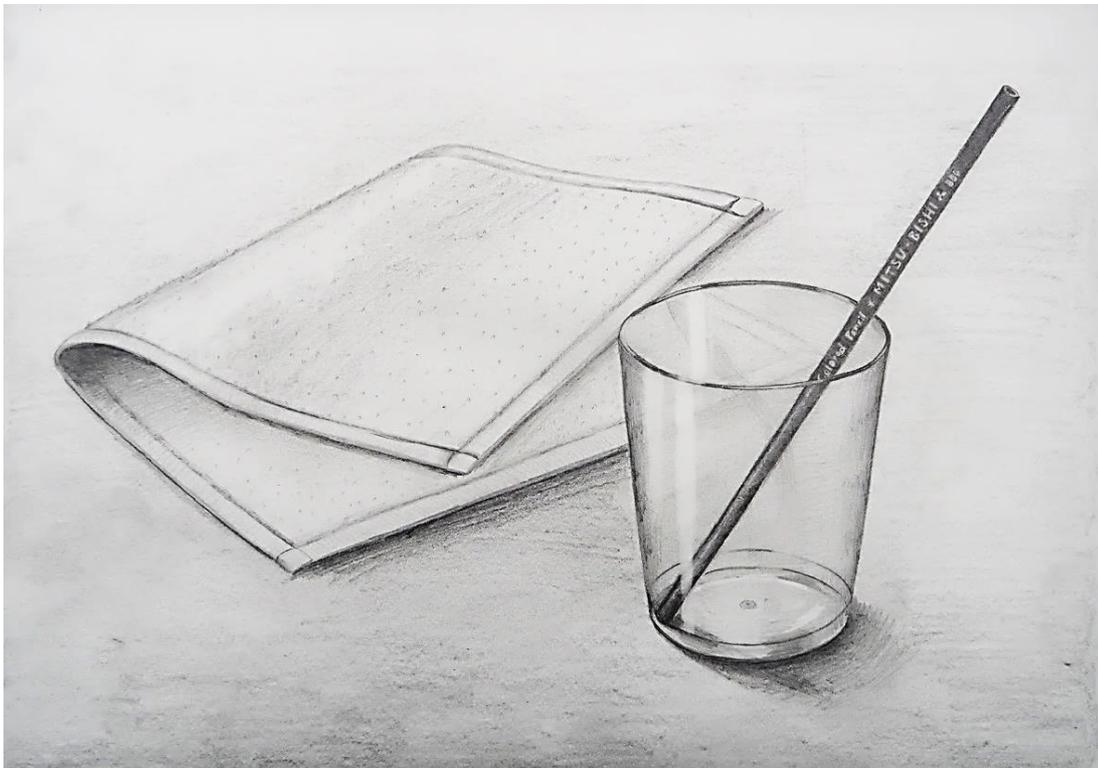
[描写対象物]

- ・プラスチックコップ 1個
- ・赤鉛筆 1本
- ・白いタオル 1枚

[条件]

- ・描写対象物はすべて描くこと。
- ・プラスチックコップ，赤鉛筆は加工してはいけない。
- ・タオルは二つ折りとし，たたみ方は自由とする。
- ・持参した鉛筆で描くこと（色鉛筆は使わないこと）。
- ・解答用紙は縦に使用しても横に使用してもかまわない。

## 【答案例および講評】



想定したタオルの質感表現は乏しいが、プラスチックコップ，赤鉛筆の質感・色彩・観察力は評価に値する。モノとモノの距離感，空間の表現ができれば，より良い作品になると思われる。

## 実技問題Ⅱ（180分）

スポーツ競技会や芸術分野のコンクールで優勝者と準優勝者それぞれに贈るトロフィーをデザインしなさい。

解答欄Aには、それぞれのトロフィーを並べて置いた状態を色鉛筆で描写しなさい。

解答欄Bには、デザインしたものが、どのようなスポーツや芸術分野のトロフィーか明示したうえで、トロフィーのデザインの趣旨文を120字程度で記述しなさい。

解答欄Cには、トロフィーの素材やその他の仕様を、優勝・準優勝それぞれの共通点や相違点を含めて図解しなさい。文字による説明を加えてもよい。

[条件]

- ・トロフィーは、大きさや素材や色は自由だが、デザインに文字を含まないこと。
- ・トロフィーは、水平面に置いたときに自立すること。
- ・解答にあたっては、解答欄Aには色鉛筆を、解答欄Bには鉛筆を、解答欄Cには鉛筆と色鉛筆を、それぞれ用いること。
- ・解答用紙はタテに使用すること。

### 【答案例および講評】

解答欄 A

求められている2体の統一感と差別化のバランスがよく、「建築分野」に関連付けた素材や形体の構想も的確である。ステンレスの描写法や色鉛筆の技法を習得すればさらによくなると思われる。

---

解答欄 B (趣旨文)

建築分野のトロフィーをデザインした。建造物をイメージして、四角形で多く固めた。受賞者がライトを浴びた時にトロフィーがキラキラ輝くように、素材(金属、ガラス、金粉、銀粉)の組み合わせをデザインした。受賞者が握りやすいように、くびみをつけた。

解答欄 C (説明図)